

1-3 公共交通の役割と課題

(1) 上位関連計画からみた公共交通に求められる役割

糸満市における上位関連計画においては、各施策の推進や実現に向けた方針や取組として公共交通が位置付けられています。

関連計画からみた公共交通の機能や果たすべき役割を下記のとおり整理しました。

上位関連計画における公共交通の位置づけ

- 沖縄らしい優しい社会、強くしなやかな自立型経済を構築していくために必要不可欠なもの

沖縄県総合交通体系基本計画（H24.6月）

- ネットワーク強化による生活利便性の向上

糸満市都市マスタープラン（H30.9月）

- 地域の移動手段の確保

第2次糸満市地域福祉計画

第4次糸満市地域福祉活動計画（H30.3月）

- 高齢者の移動手段

高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（H30.3月）

- 地域の暮らしを支える手段

第4次糸満市総合計画後期基本計画（H28.3月）

- 交通ネットワークを充実し通勤事情のハンデ解消による移住・定住の促進

糸満市人口ビジョン・総合戦略（H28.3月）

- 観光客の受け入れ環境の改善

糸満市観光振興基本計画（H28.3月）

求められる機能・役割

都市間連携

本市と周辺市町村間の移動を支援

地域間連携

市内の各集落と拠点間の移動を支援

交通弱者の 移動手段

高齢者や児童など交通弱者の移動を支援

観光客の 移動手段

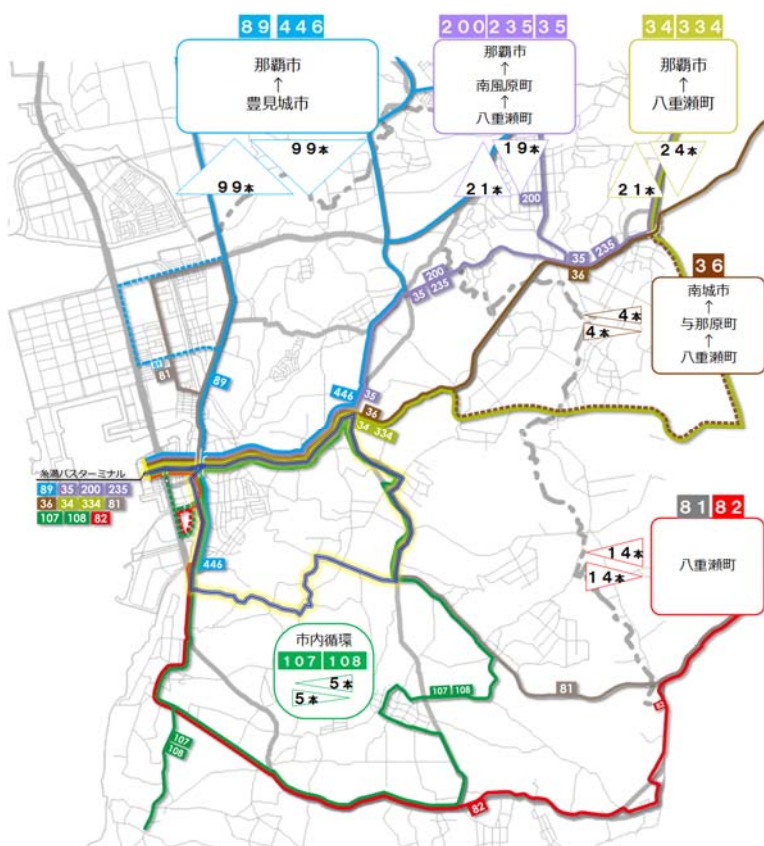
市内来訪者の移動を支援

（２）公共交通に求められる役割に対する問題点と課題

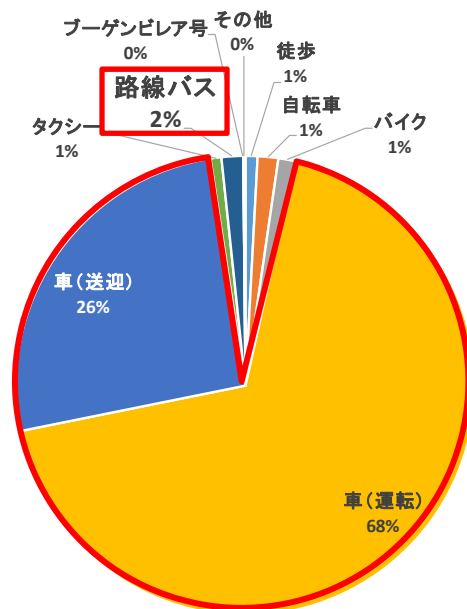
①「都市間連携」に対する現状と問題点やニーズ

（現状）

- ・現在のバス路線は、糸満バスターミナル及び糸満営業所を起終点とした放射状の基幹路線と、市内の循環路線で形成されています（糸満バスターミナルから南北に路線が分かれています）
- ・糸満バスターミナルを中心に近隣市町村へ路線が結節しており、特に那覇市向けの路線の運行頻度が高くなっています
- ・市外に移動する市民の94%が車を利用しており、路線バス利用率は2%です



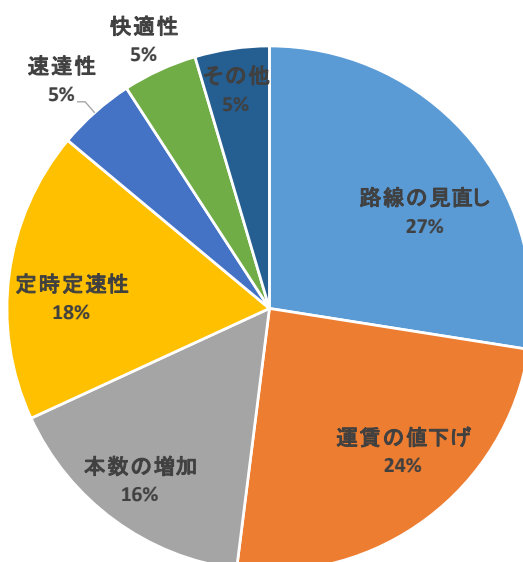
▲民営路線バスの近隣市町村への運行状況



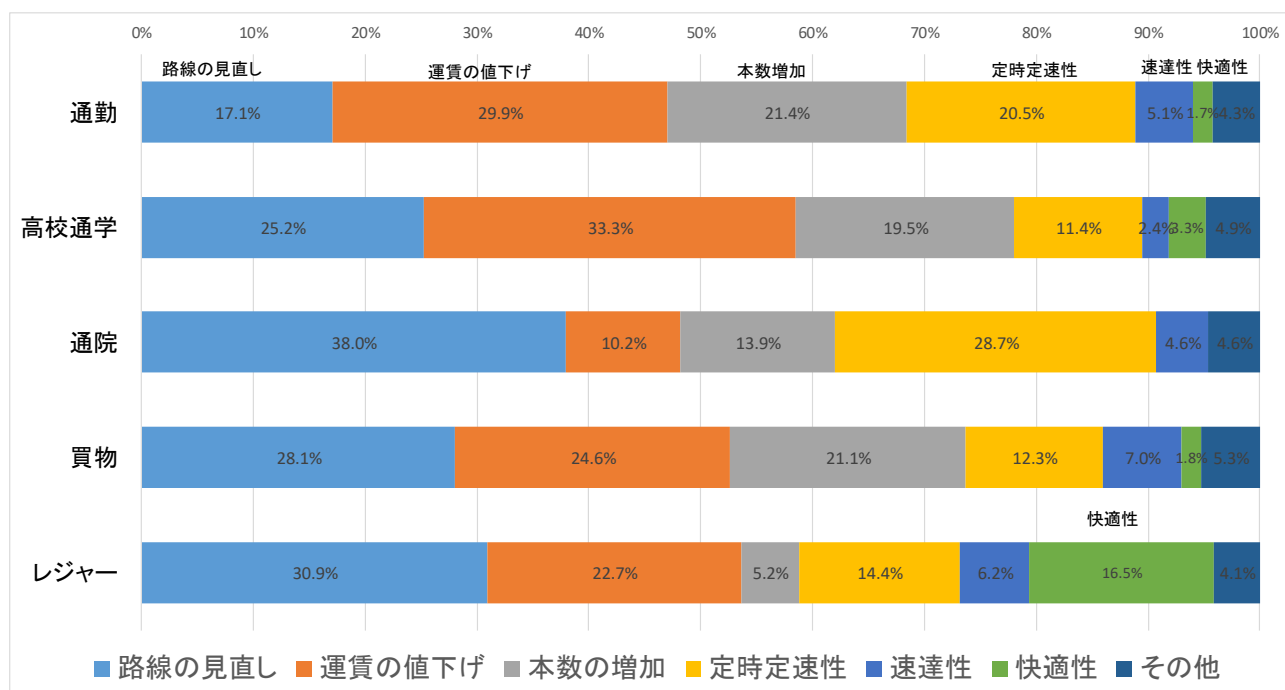
▲市内から市外へ移動する市民の主な移動手段（R1 市民アンケート）

(問題点やニーズ)

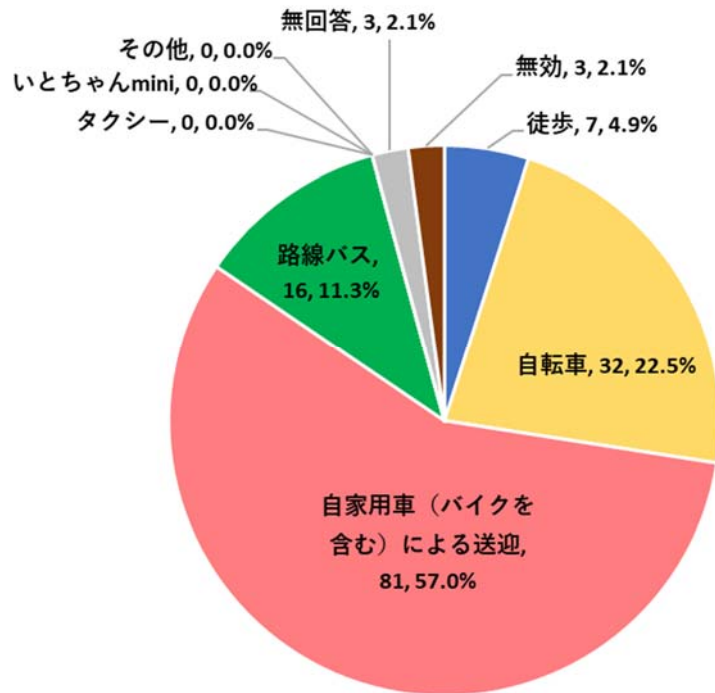
- ・ 国道 331 号バイパスの開通により那覇市への交通アクセスが飛躍的に向上したが、バス路線化がされていない為、十分な利便性向上が図られていません
- ・ 市外に移動する市民ニーズとして「路線の見直し」「運賃の値下げ」「増便」「定時・定速性」が挙げられており、幹線への新公共交通システム導入が求められています
- ・ 市内から市外へ通学する高校生は、学校の登下校の時間に合わせた増便を望んでいます
- ・ バスの待ち時間を快適に過ごせる乗り継ぎ拠点等の環境整備が求められています



▲市内から市外へ移動する市民が公共交通に求めること（R1 市民アンケート）



▲市内から市外へ移動する市民が公共交通に求めること（移動目的別）（R1 市民アンケート）



▲市内から市外に通学する高校生の交通手段（R1 高校生アンケート）

市内から市外に通学している高校生ニーズ	意見数
路線バス本数の増便	19
学生に対する運賃割引策の導入	8
学生に合わせたダイヤの設定	5

▲市内から市外に通学する高校生の声（自由意見を分類）（R1 高校生アンケート）

幹線に関するニーズ	意見数
新交通システムの導入	74
周辺市町村との接続	7
那覇空港との接続	6
高規格道路との接続	2

幹線に関するニーズ
89 個の内
83%（67 個）
が新交通システム
導入ニーズ

▲公共交通に対する市民ニーズ（自由意見を分類）（R1 市民アンケート）

②「地域間連携」に対する現状と問題点やニーズ

(現状)

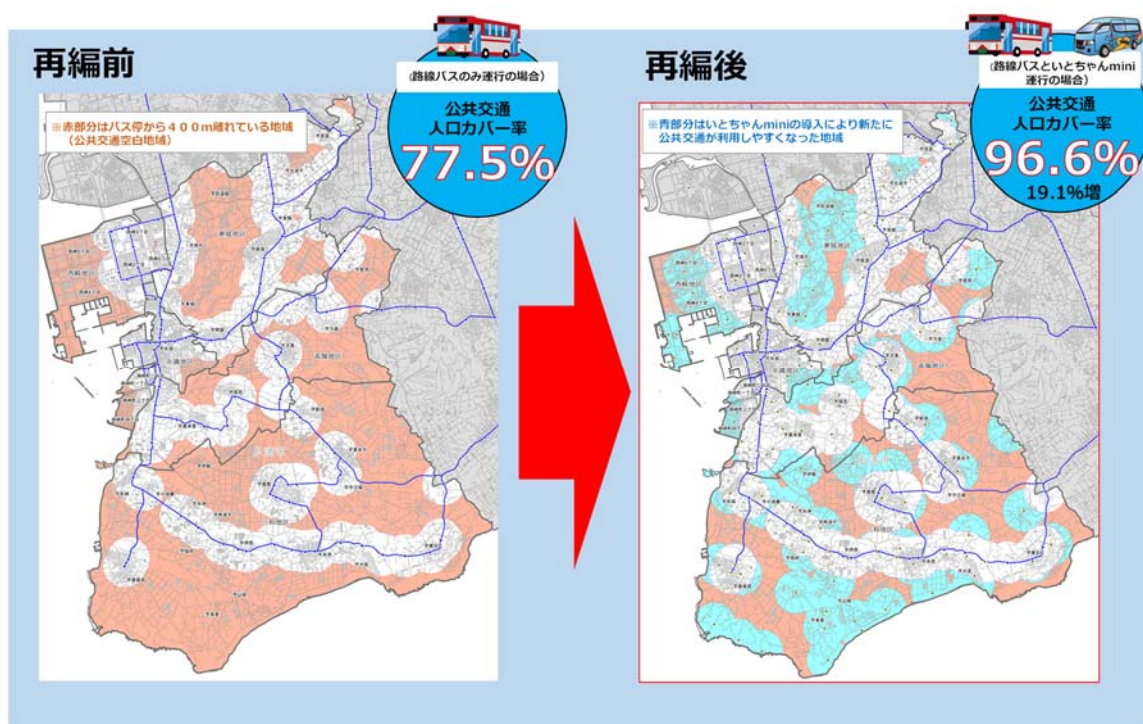
- ・路線バス利用者数の減少、赤字路線への補助額増加を背景に、平成30年10月に市内公共交通の一部が再編され、いとちゃんmini（デマンド交通）が公共交通空白地帯をカバーしています
- ・いとちゃんmini（デマンド交通）の利用状況や市民アンケート結果をみると、市民の移動需要は、特定の商業、医療施設等に集中しています

発時	南部循環線	国吉線
	真壁通り(107) ⑤本/日 (役:役所通り)	喜屋武通り(108) ⑤本/日 (役:役所通り)
6	① 30	真栄里通り(86) ②本/日
7	② 25	大里通り(85) ④本/日 (役:役所通り)
8		
9	③ 10(夜)	
10		
11		
12	④ 35	
13	⑤ 20(夜)	
14	⑥ 15(夜)	
15		
16	⑦ 15	
17	⑧ 30	
18	⑨ 20	
19	⑩ 20	
20	⑪ 30	

発時	南部循環線	いとちゃんmini
	真壁通り(107) ⑤本/日 (役:役所通り)	国吉線代替路線 真栄里通り ②本/日
6	① 10(夜)	デマンド運行 (30分前予約で利用可能)
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14	② 50	
15		
16		
17	③ 25(夜)	
18		
19	④ 00(夜)	
20		
21	⑤ 00(夜)	

※上記ダイヤは一部変更になる可能性があります(平成30年6月30日現在)

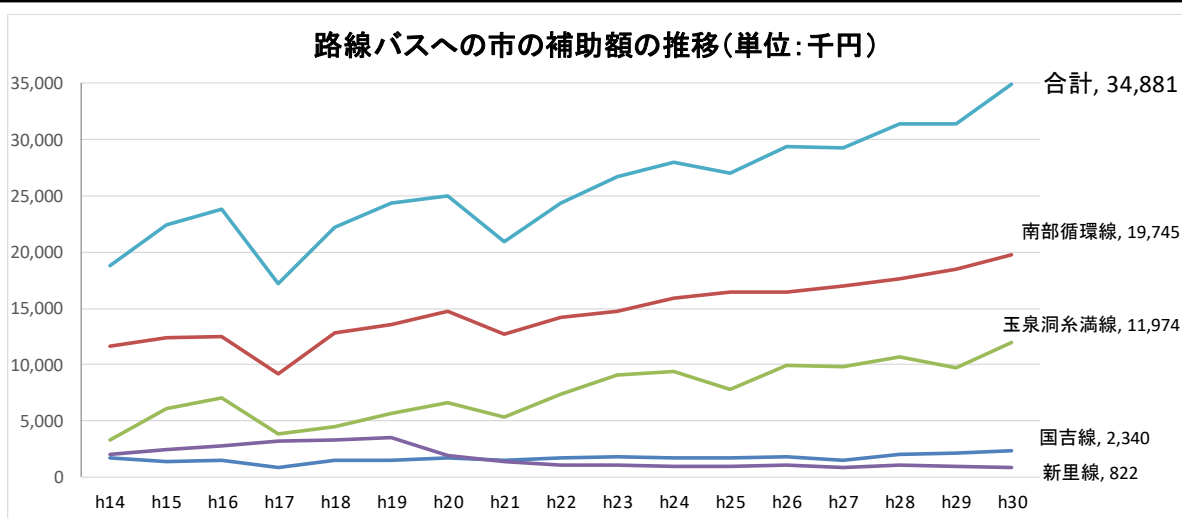
▲平成30年10月に実施された再編の概要(H30.10月時点)



▲デマンド交通導入による公共交通人口カバー率の増加(H30.10月時点)

(問題点やニーズ)

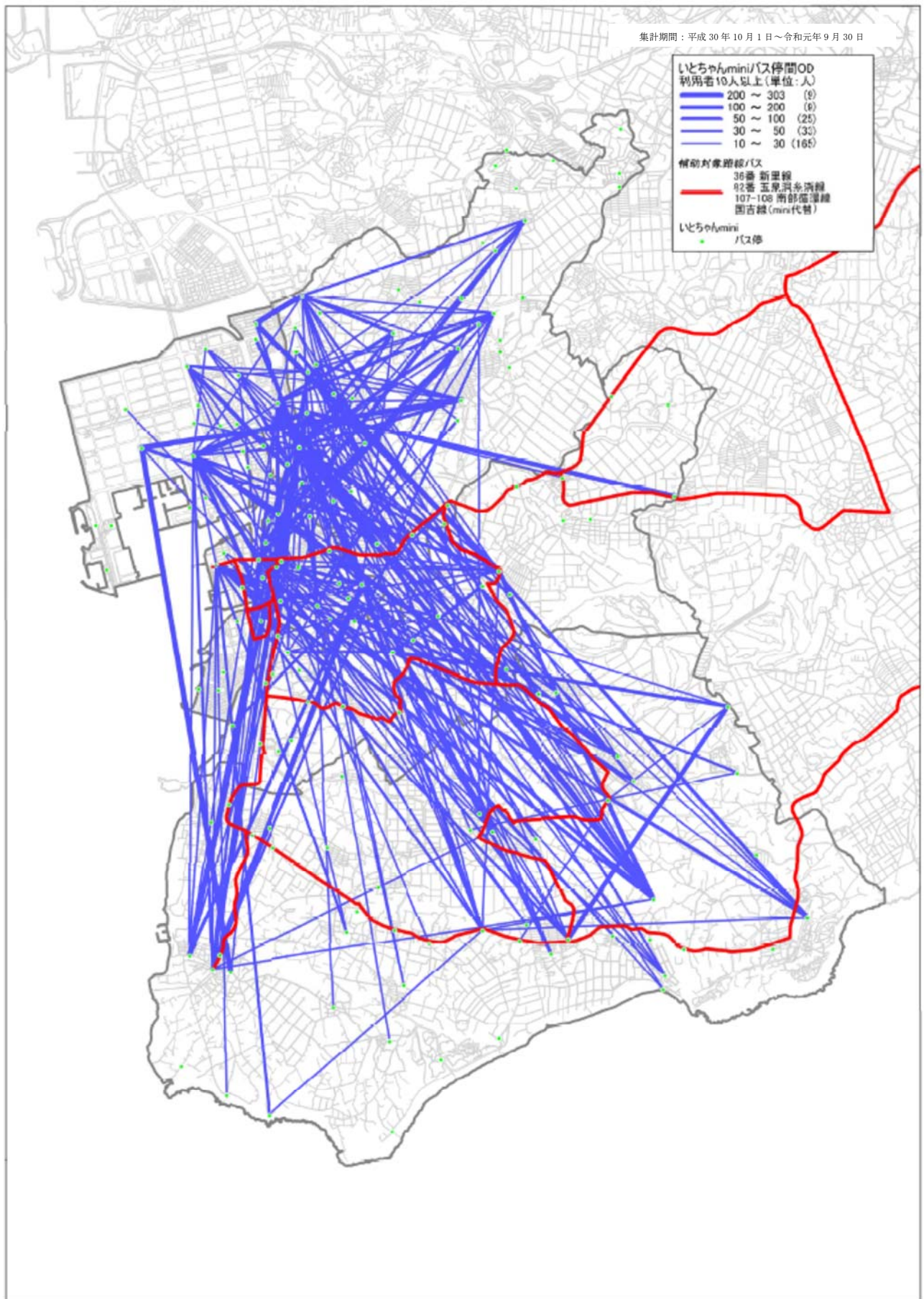
- ・公共交通を維持するための市の負担額が増加傾向となっています
- ・いとちゃん mini (デマンド交通) の利用状況や市民アンケート結果から市内の移動需要をみると、人の動き(時間、場所、目的、同行人数)が分散しており、路線バスのルートでは、移動需要をカバーできていません
- ・いとちゃん mini (デマンド交通) のバス停(市内 165 箇所)増加により、運行効率が低下しています
- ・地域内を移動する際の路線バスのサービス水準が低い状況です
- ・いとちゃん mini (デマンド交通) は、利用者増加に伴い、予約をお断りするケースが増えています
- ・市民全体では、移動したいときに移動ができない割合は 5%ですが、公共交通を利用して人に限ると、27%が移動できていません
- ・市民アンケートを見ると、地域間連携強化を求める声が多くなっています



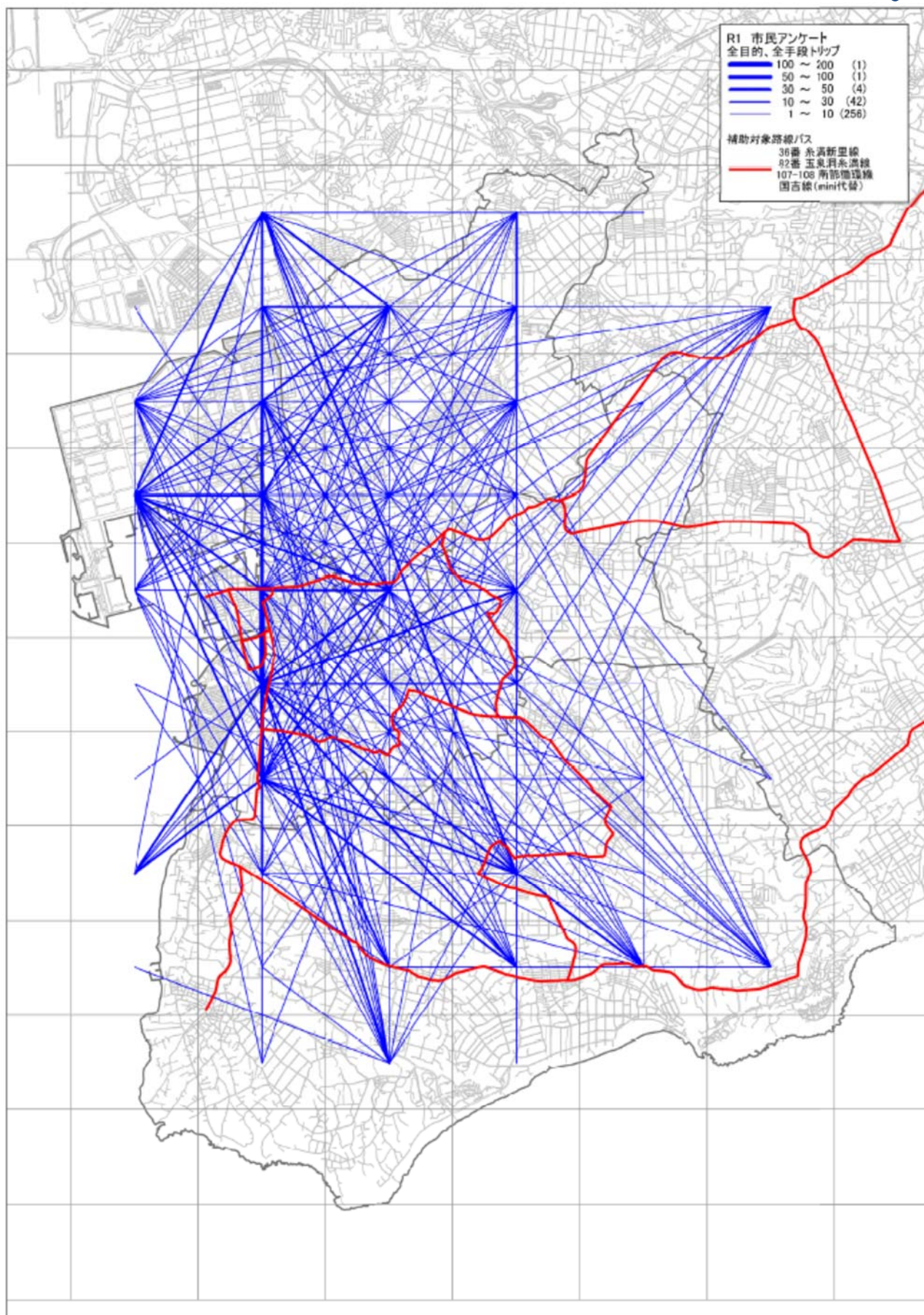
▲路線バスへの補助額の推移 (H14~H30)



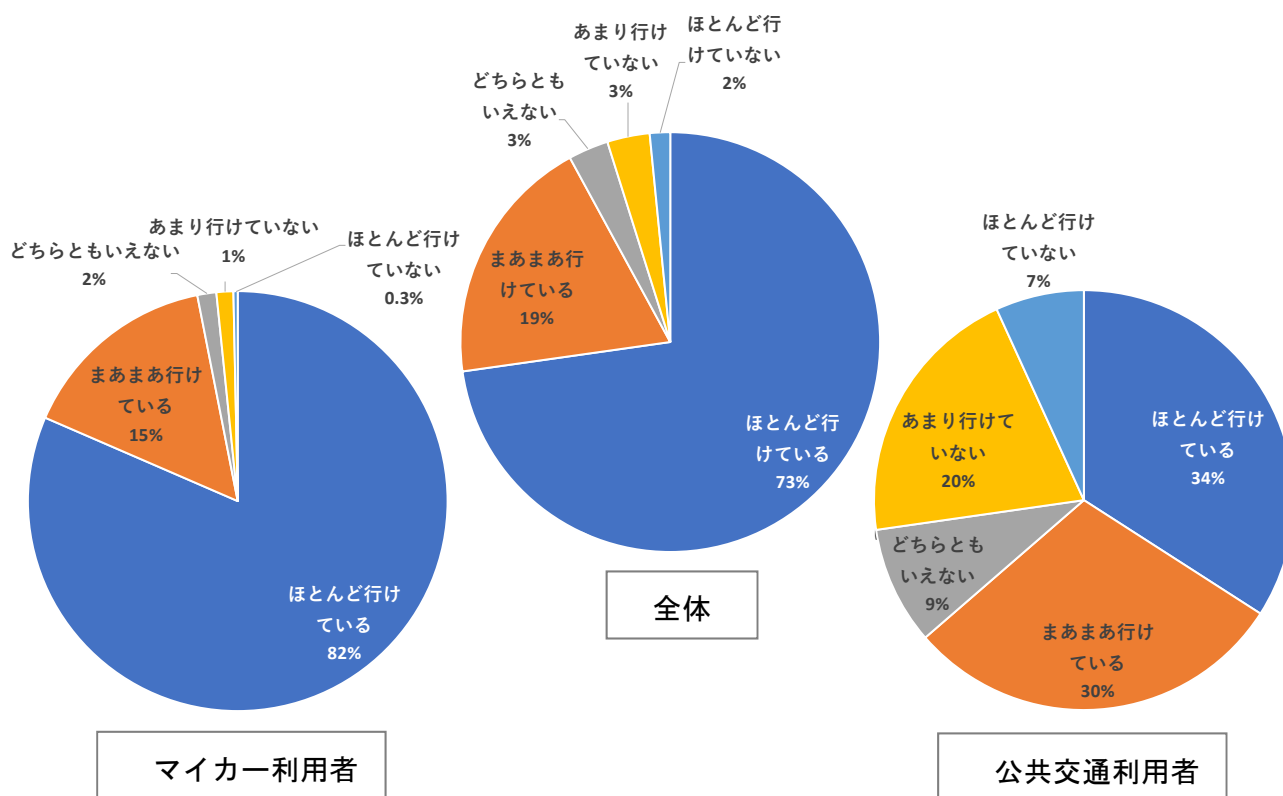
▲市内を循環する路線バスへの補助額と利用者推移 (H29 年度作成)



▲いとちゃん mini の全利用乗降スパイダ図 (H30.10月～R1.9月期間集計)
※赤線は市内を運行する補助対象路線



▲市民アンケートで回答された市民の全移動（字単位）スパイダ図（R1 市民アンケート）
※赤線は市内を運行する補助対象路線



▲行きたい場所へ行きたいときに行けているか（R1 市民アンケート）

支線に関するニーズ	意見数
域内交通網の強化	22
運賃体系・運行頻度の見直し	7

▲公共交通に対する市民ニーズ（自由意見を分類）（R1 市民アンケート）

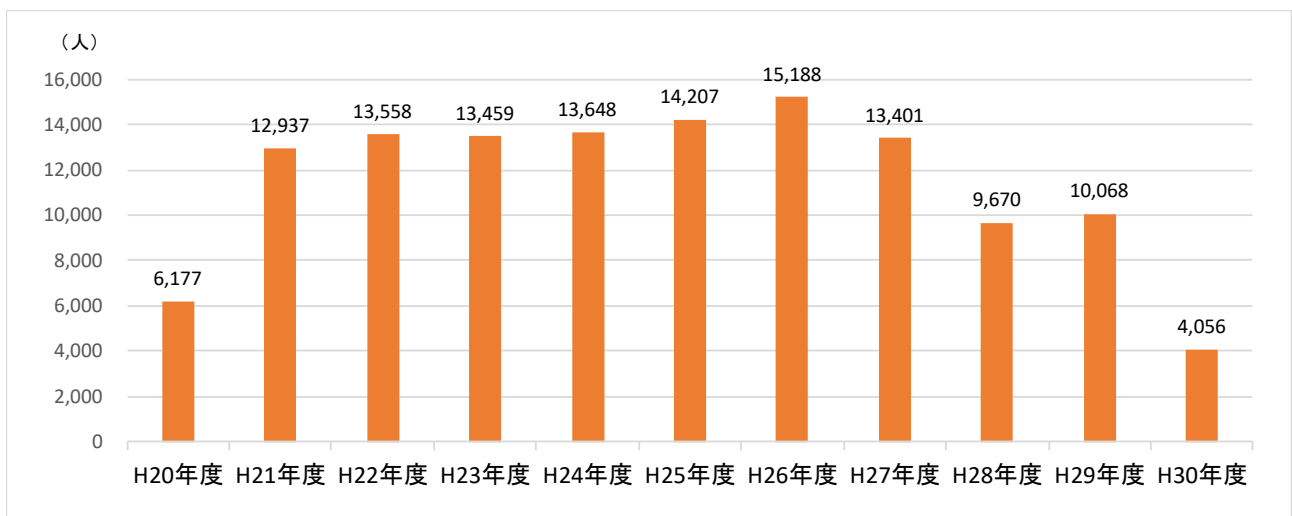
③「交通弱者の移動手段」に対する現状と問題点やニーズ

(現状)

- ・糸満市全体の老年人口は 20.6%（H24 調査時は 15.6%）、年少人口は 18.1%（H24 調査時は 18.6%）と高齢化率、単身世帯率が増加しています
- ・平成 20 年度より開始した施設バスを利用したブーゲンビレア号は、65 歳以上の高齢者の生活の足として一定の役割を担っています
- ・平成 30 年度より試験運行をしているい toch ゃん mini（デマンド交通）は、市内の交通弱者の生活の足として一定の役割を担っています
- ・市民の 60%が、将来運転できなくなったら公共交通機関に転換する傾向が見られます
- ・60 代以上の約 3 割が自身で運転することに不安を感じています
- ・高校生の 29%が、自身が利用できるバス系統を把握していない状況です

		男性		女性		合計	
人 口	総人口	31,437	-	30,662	-	62,099	-
	年少人口（0～14歳）	5,729	9.2%	5,539	8.9%	11,268	18.1%
	生産年齢人口（15～64歳）	19,681	31.7%	18,334	29.5%	38,015	61.2%
	老人人口（65歳以上）	6,027	9.7%	6,789	10.9%	12,816	20.6%
	前期高齢者（65～74歳）	3,619	5.8%	3,343	5.4%	6,962	11.2%
	後期高齢者（75歳以上）	2,408	3.9%	3,446	5.5%	5,854	9.4%

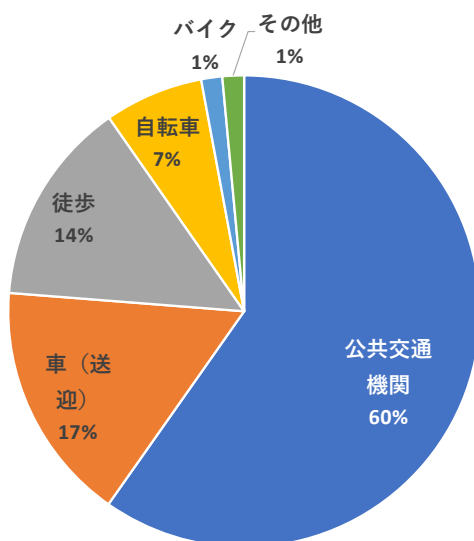
▲糸満市の人口分布（R1.9月時点）



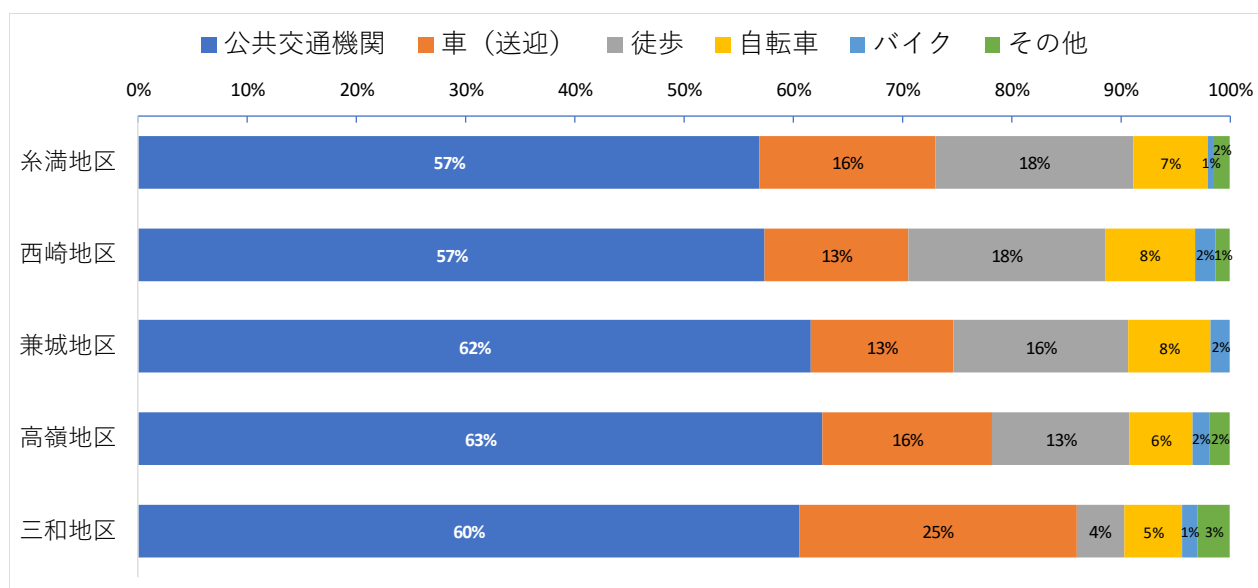
▲ブーゲンビレア号の利用者推移（平成 20～30 年度）

	平成28年度		平成30年度	
割引運賃の種類	人数	全乗車人数に対する割合	人数	全乗車人数に対する割合
障がい者割引	1,127	12.2%	3,983	21.3%
高齢免許返納者割引	53	0.6%	1,992	10.7%
			合計	32.0%

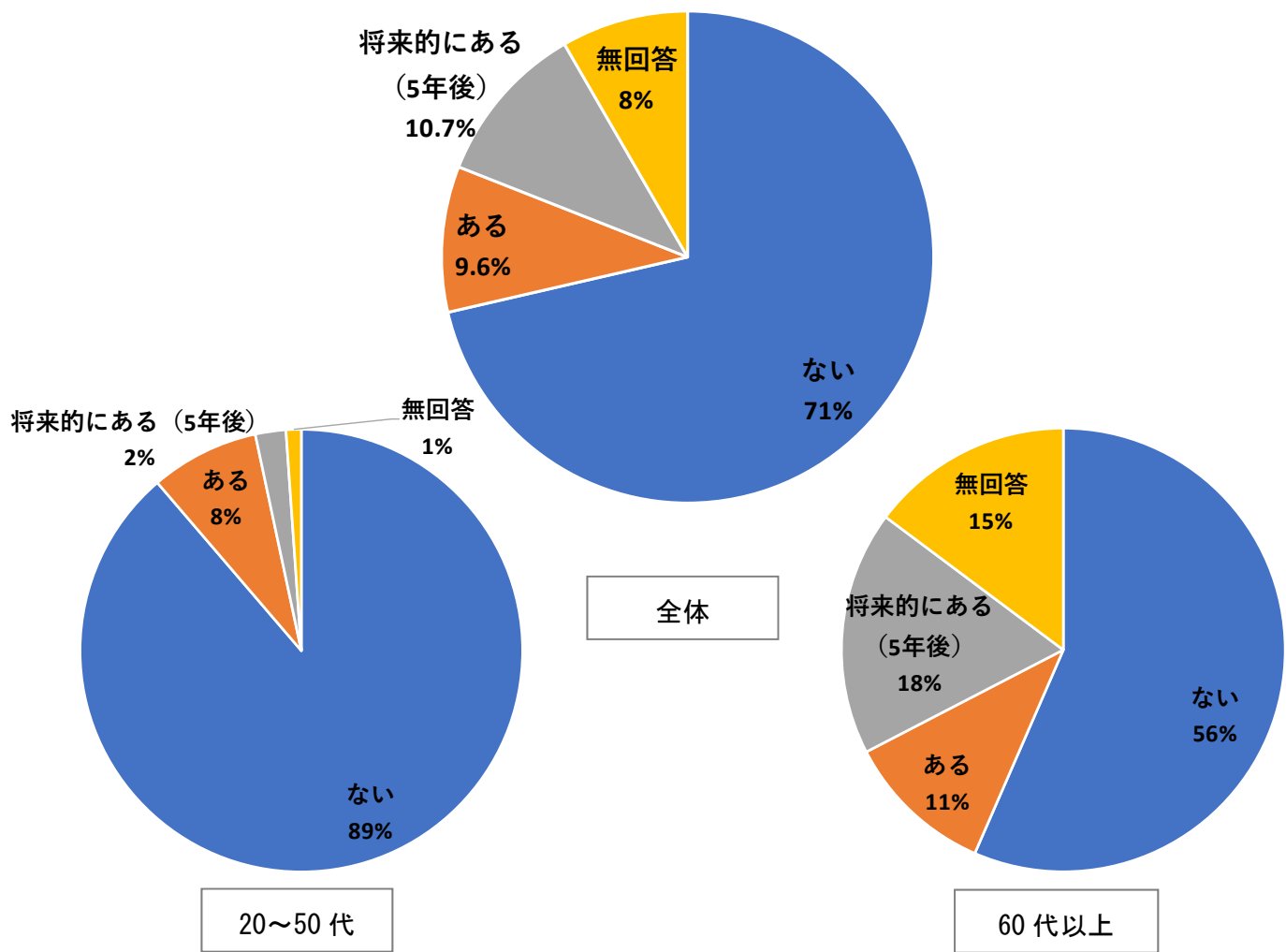
▲いとちゃんmini 利用者のうち、障がい者または高齢免許返納者割引を適用した人数



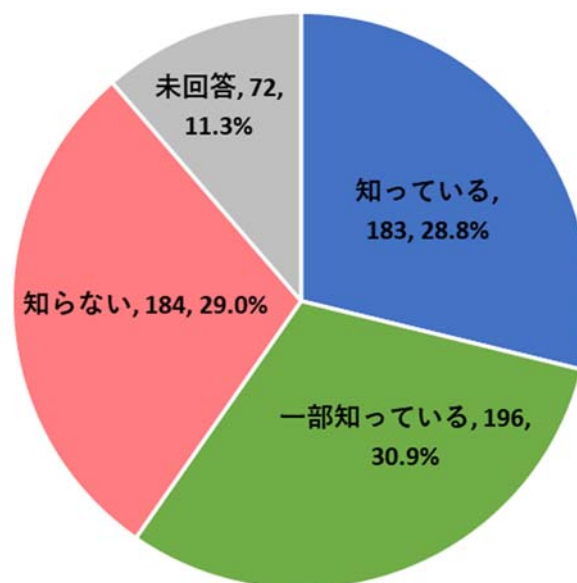
▲将来運転できなくなった場合の移動手段（R1 市民アンケート）



▲将来運転できなくなった場合の移動手段（地区別）（R1 市民アンケート）



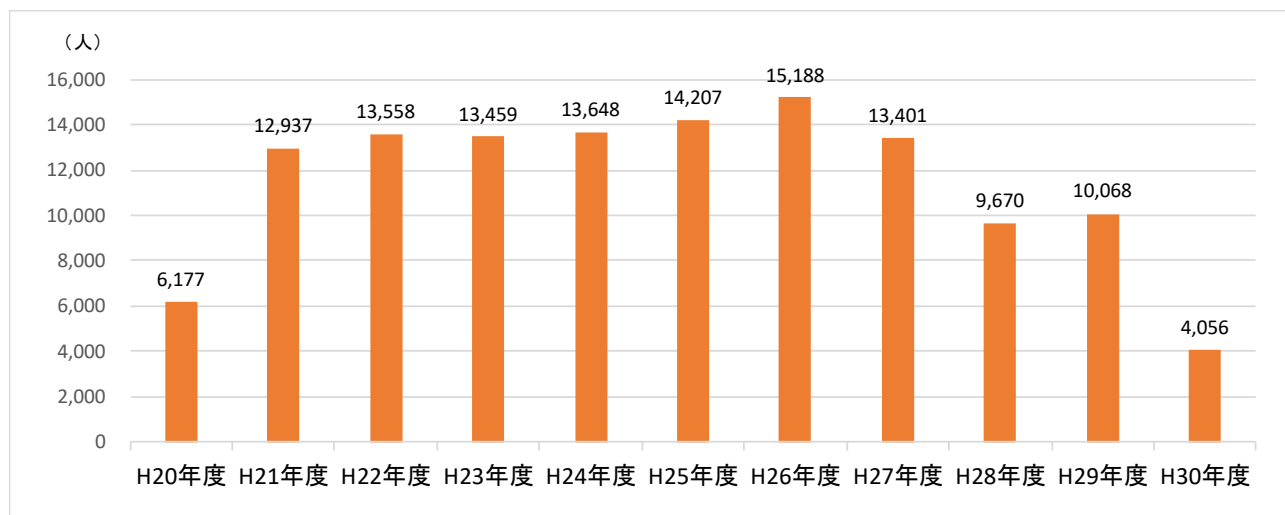
▲自分で運転することに対する不安（R1 市内アンケート）



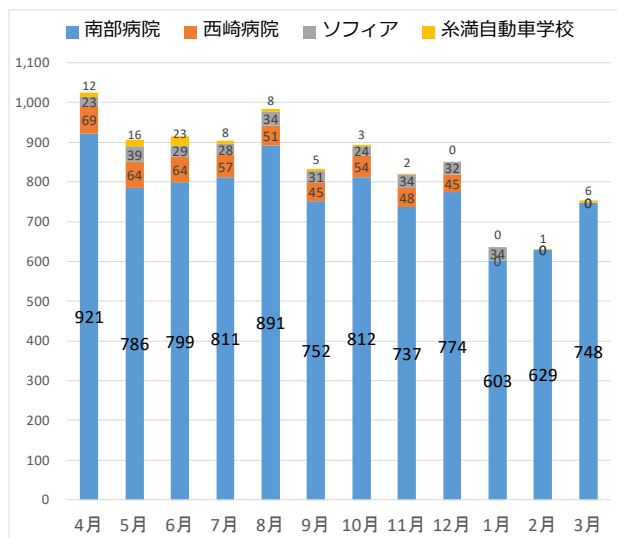
▲自身が利用できるバスの系統を知っているか（R1 高校生アンケート）

(問題点やニーズ)

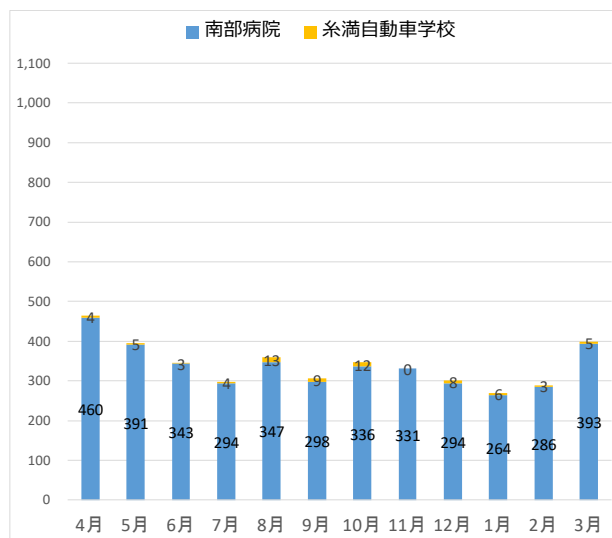
- ・今後も高齢化の進展が予想されるなか、高齢者等の交通弱者が増加していくことが見込まれ、市民の日常生活に密着した移動手段を確保していく必要性は高まっています
- ・他地域に比べて、三和地区等の市南部の地域は、路線バスのサービス水準が低い状況です
- ・ブーゲンビレア号を運行する協力企業が減り、持続可能性に懸念があります
- ・いとちゃん mini（デマンド交通）は、利用者増加に伴い、予約をお断りするケースが増えています



▲ブーゲンビレア号の年間利用者数推移（再掲）



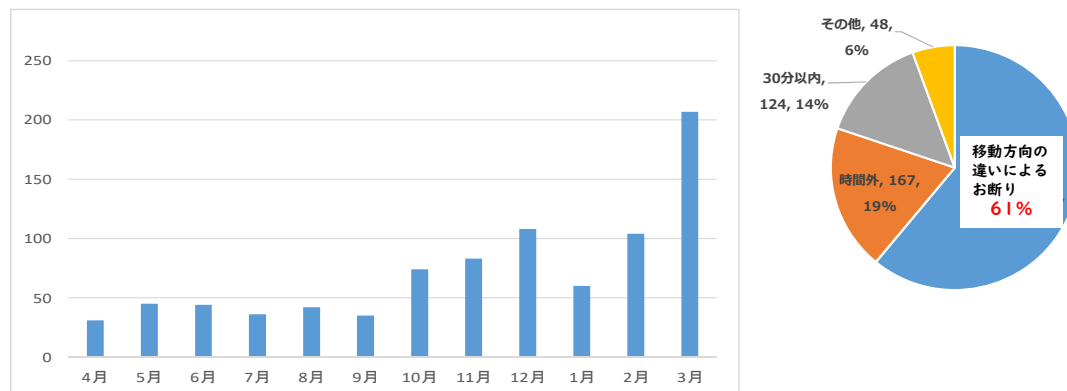
(平成29年度)



(平成30年度)

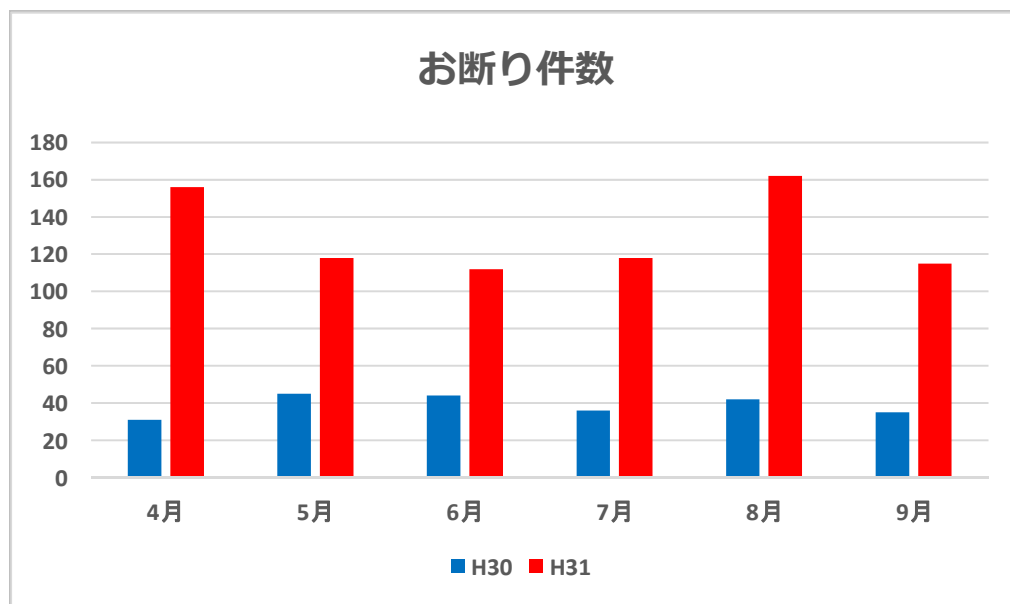
▲運行事業者が4者から2者に減少したことに伴う利用者の減少状況

いとちゃんmini予約お断り発生数



●利用者増加に伴い、いとちゃんmini（デマンド交通）の予約をお断りするケースが増えてきている

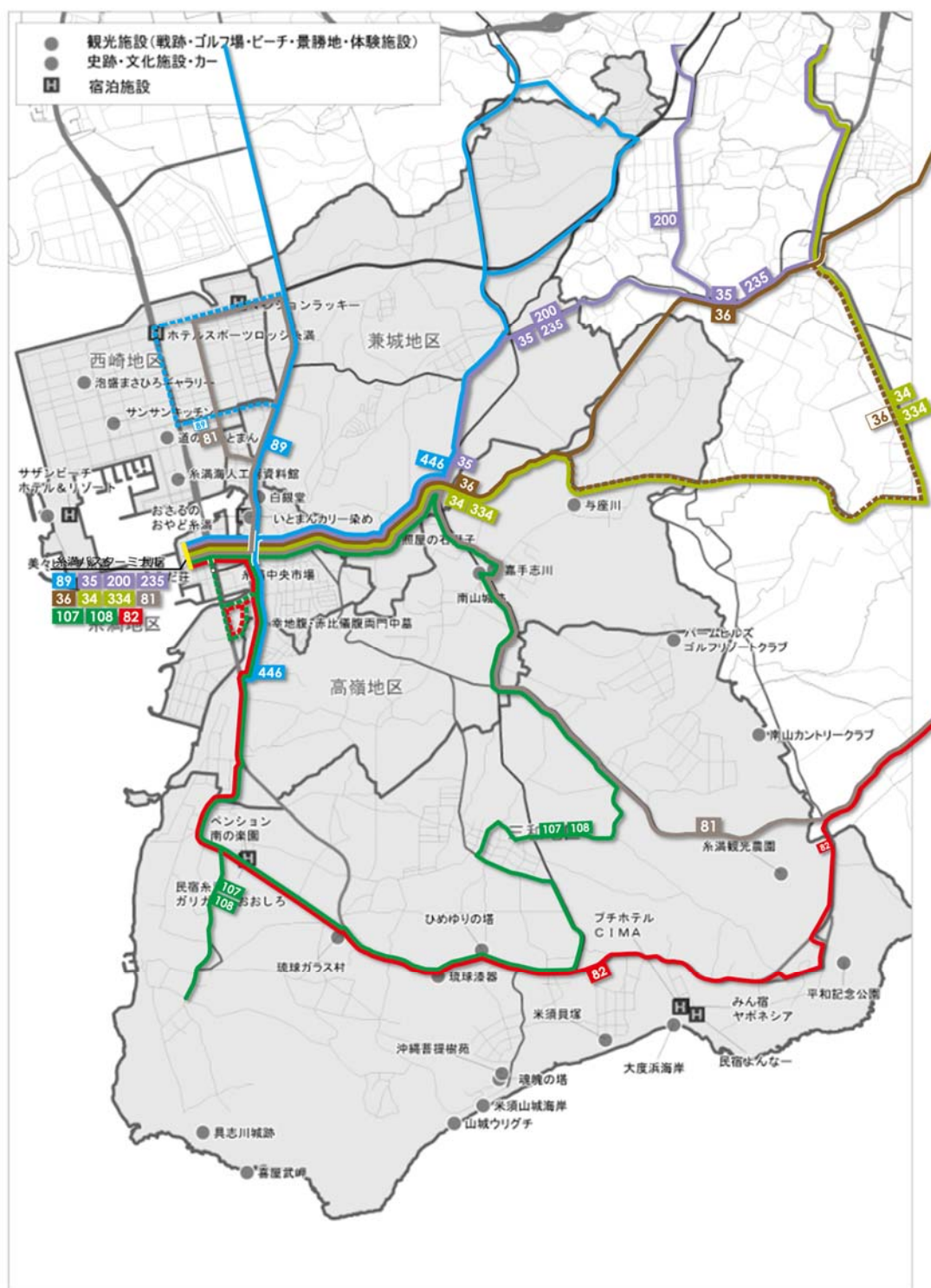
▲いとちゃんminiのお断り発生数の推移（H30年度集計）



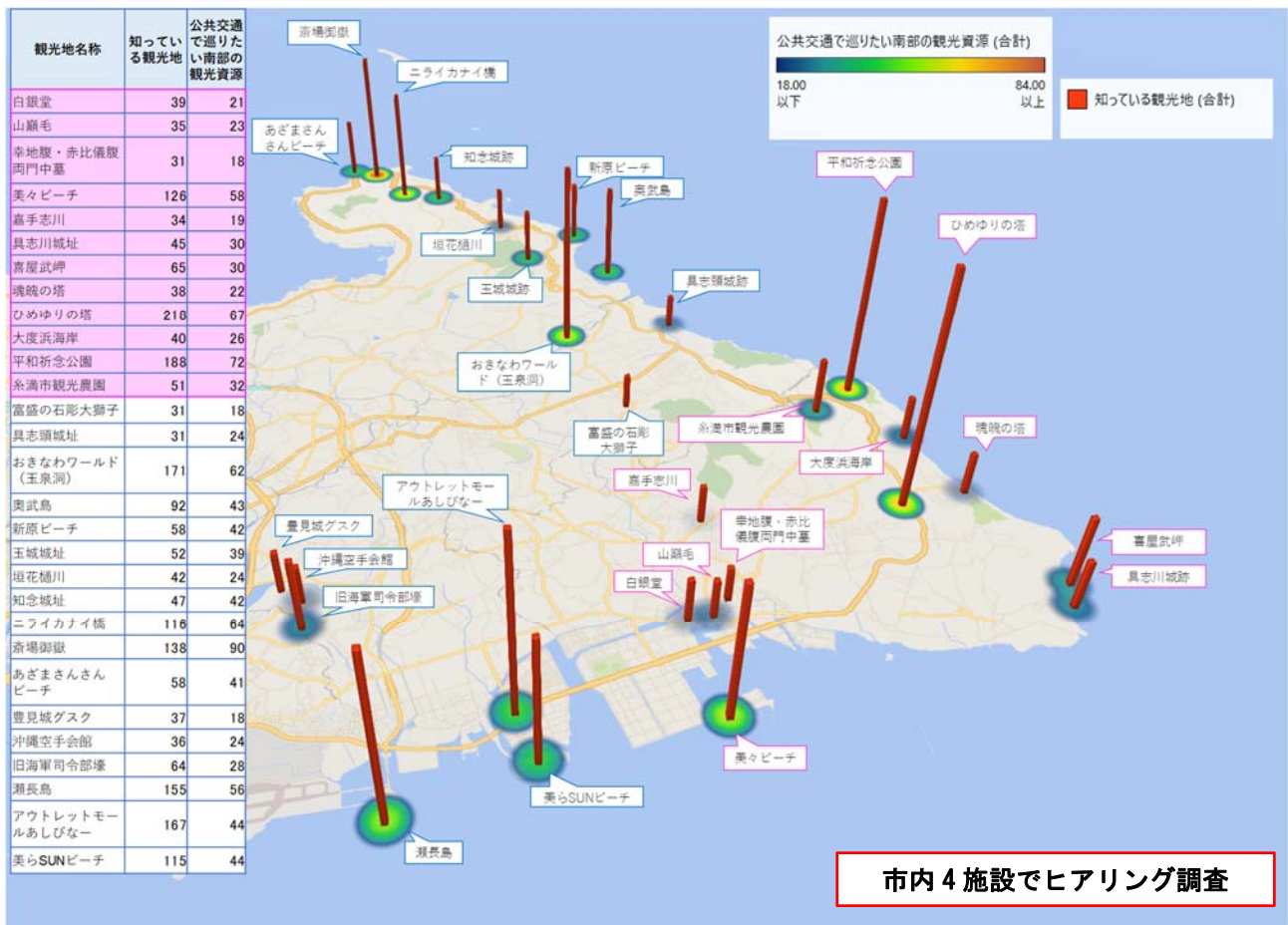
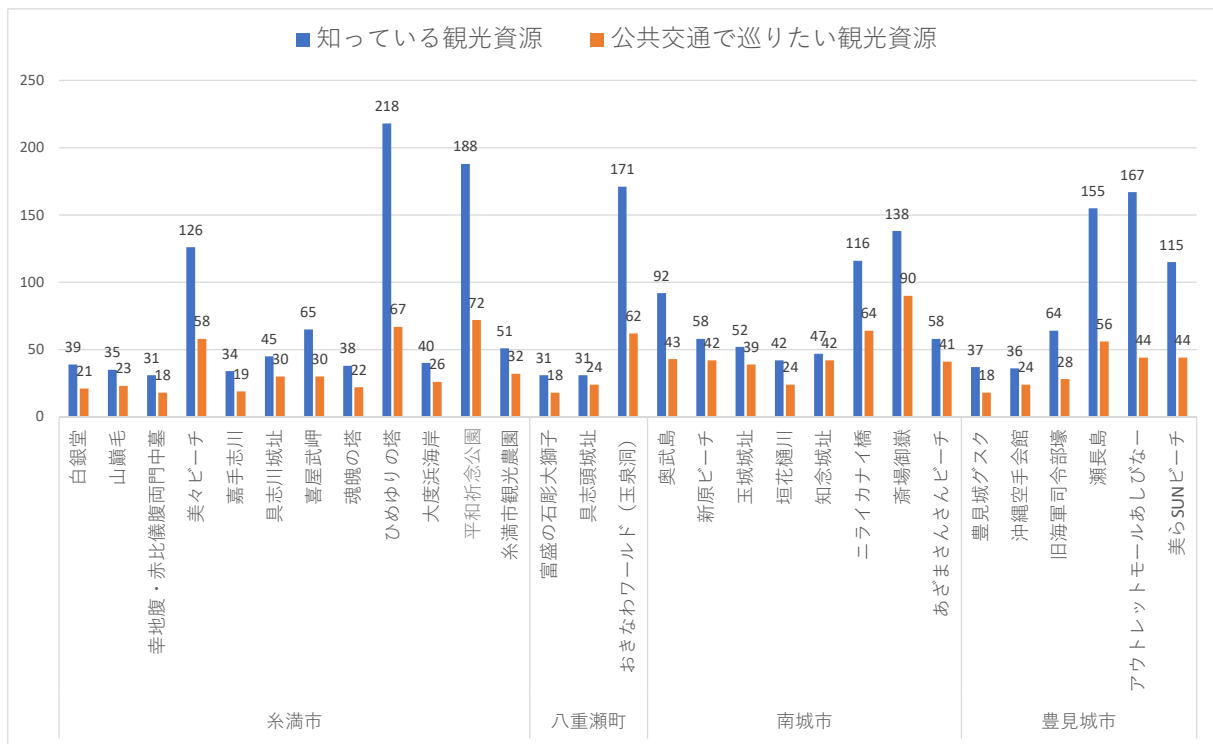
▲お断り件数の増加状況（H30とH31の4～9月比較）

(現状)

- ・糸満バスターミナルを起点に南部地区の主要観光施設に向けた路線バスが運行されています
- ・いੱちゃん mini（デマンド交通）は、市内の主要観光施設に乗降所が設定されています
- ・糸満市に訪れている観光客の路線バス利用率は 1.1%です
- ・観光客へ南部の観光資源を周遊する公共交通の便を整えた場合、利用するか伺うと、知っている観光資源の約 66～74%を公共交通で周遊したいニーズがあることがわかりました

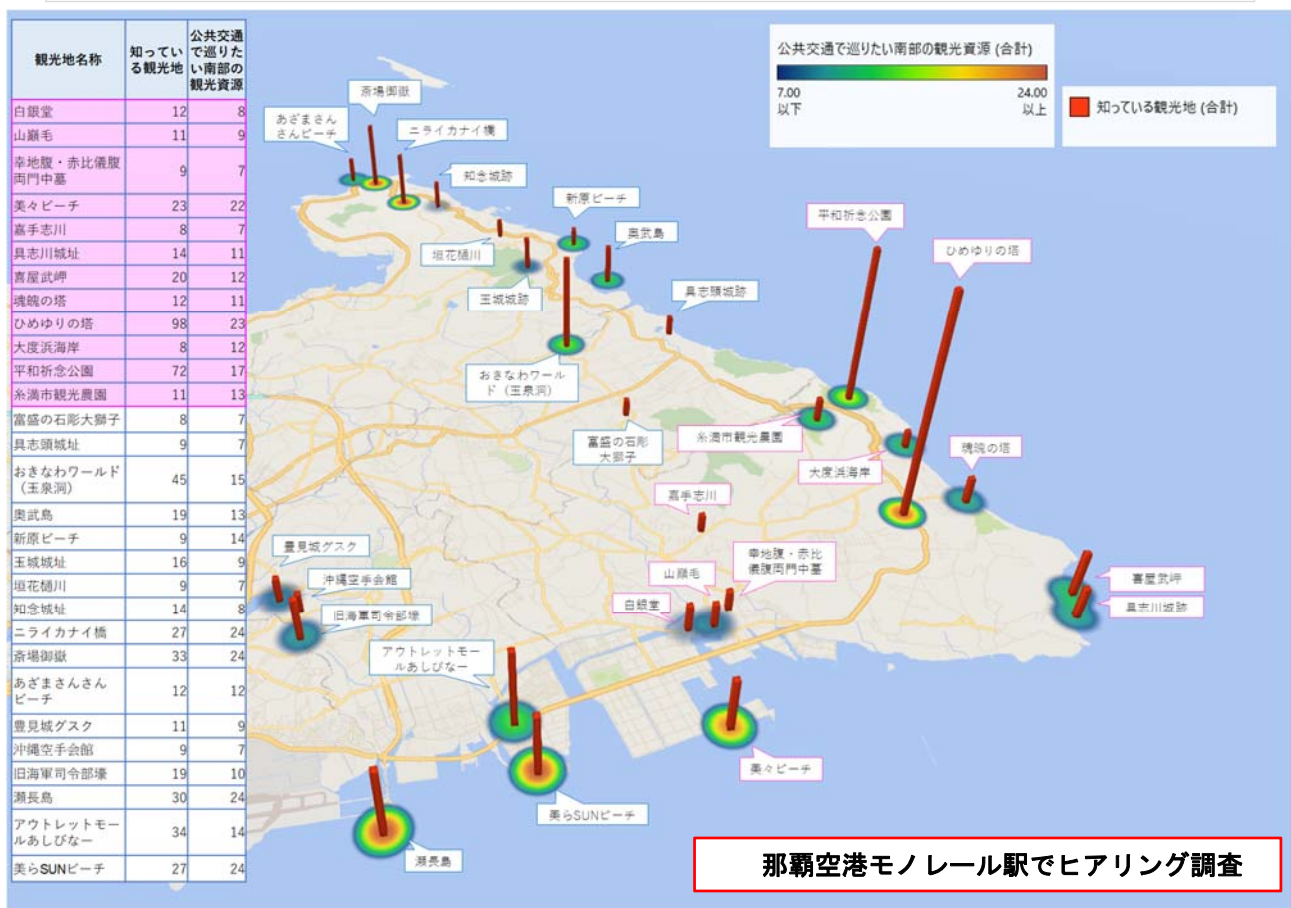
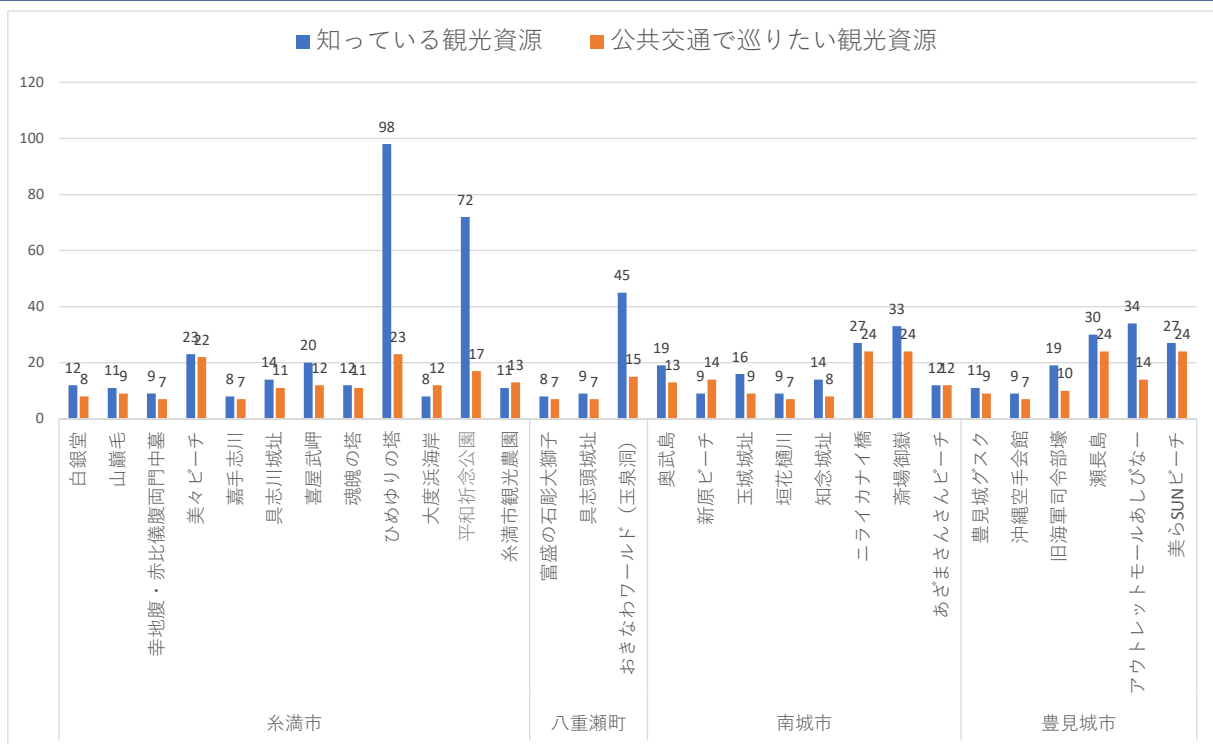


▲市内主要観光施設と路線バス運行ルート



▲南部観光資源の認知度、公共交通で巡りたい拠点 (R1 観光客ヒアリング)

	29箇所のうち、知っている観光資源 (平均)	うち、公共交通で便が整ったら巡ってみたい観光資源 (平均)	割合	回答者
市内観光施設でのヒアリング	2.9箇所	1.9箇所	66%	364組



▲南部観光資源の認知度、公共交通で巡りたい拠点（R1 観光客ヒアリング）

	29箇所のうち、知っている観光資源（平均）	うち、公共交通で便が整ったら巡ってみたい観光資源（平均）	割合	回答者
市外観光施設でのヒアリング	3.8箇所	2.8箇所	74%	110組

(問題点やニーズ)

- ・糸満市を訪れる観光客の公共交通利用意向は51.1%あるものの、利用率が低い状況です
- ・那覇空港等、糸満バスターミナル以北から訪れる観光客が南部観光資源を周遊する場合、一度乗り換えとなることから、待合環境の整備が求められています
- ・いとちゃん mini（デマンド交通）は、利用者増加に伴い、予約をお断りするケースが増えています



▲旅行の目的地である観光地を通過する公共交通があった場合の利用意向
(H24 観光客アンケート)

移動手段	割合
レンタカー	70.7%
自家用車	21.7%
一般タクシー	2.6%
観光バス	1.5%
路線バス	1.1%
モノレール	0.7%
徒歩	0.7%
観光タクシー	0.2%
自転車	0.2%
バイク	0.2%
その他	0.4%

糸満市に訪れている観光客の**路線バス**利用率は**1.1%**

▲観光客の公共交通利用率（R1 観光客ヒアリング）※県外出身者のみ

新交通ターミナルにあったら良い機能案 (Aグループ)

避難所	本屋さん	スーパー	ATM コーナー	ネット カフェ	建設施設	ジム
ビジネス ホテル	親子が遊べる場所 (Like a ぎのわん道の駅)	地元の人が働く場所	周遊バス (買い物出張バス)	民間による トータルデザイン	環境負担軽減を 数値化	コンビニ
モノレール						

新交通ターミナルにあったら良い機能案 (Bグループ)

資料館 ジョン万次郎 南山城	屋上活用	イベント広場 (例 パレット前 福岡の…)	かわいいバス 二階建てバス	診療所 病院	ショッピング モール	サンセット カフェなど
モノレールの 停留所	バスターミ ナル 屋根	企業施設 ホテル ラウンジ	映画館	ジム シャワー ルーム	橋を架ける	川を渡る 水上バス
サンセット が見える 配置	子供の為 の施設 保育園	高齢者 施設	役所 銀行	会議室を 作る	多目的に する	展望ス ペースが ほしい
露店用 水道設置	自転車 ロード設置	糸満らしい オブジェ・サ パニ・エーク	避難所 社協等 (5F以上?)	防災 と 福祉	建物を 今風に!	北谷の市 民駐車場 みたいに
ホテル						

▲交通ターミナルに必要な機能 (R1 市民ワークショップ)

上述した4つの「公共交通に求められる役割に対する問題点やニーズ」を踏まえ、公共交通の課題を抽出しました。

公共交通の役割と問題点やニーズ

課題

都市間連携

- ・国道331号バイパスの開通により那覇市への交通アクセスが飛躍的に向上したが、バス路線化がされていない為、充分な利便性向上が図られていません
- ・市外に移動する市民ニーズとして「路線の見直し」「運賃の値下げ」「増便」「定時・定速性」が挙げられており、幹線への新公共交通システム導入が求められています
- ・市内から市外へ通学する高校生は、学校の登下校の時間に合わせた増便を望んでいます
- ・バスの待ち時間を快適に過ごせる乗り継ぎ拠点等の環境整備が求められています

市民の移動需要に沿った公共交通網の形成と交通拠点の整備

中心市街地と集落を結ぶ持続可能な公共交通網の整備

地域間連携

- ・公共交通を維持するための市の負担額が増加傾向となっています
- ・いとちゃんmini（デマンド交通）の利用状況や市民アンケート結果から市内の移動需要をみると、人の動き（時間、場所、目的、同行人数）が分散しており、路線バスのルートでは、移動需要をカバーできていません
- ・いとちゃんmini（デマンド交通）のバス停（市内165箇所）増加により、運行効率が低下しています
- ・地域内を移動する際の路線バスのサービス水準が低い状況です
- ・いとちゃんmini（デマンド交通）は、利用者増加に伴い、予約をお断りするケースが増えています
- ・市民全体では、移動したいときに移動ができない割合は5%ですが、公共交通を利用している人に限ると、27%が移動できていません
- ・市民アンケートを見ると、地域間連携強化を求める声が多くなっています

交通弱者にやさしい移動手段の確保

地域、事業者、行政の協働による公共交通を支える体制づくり

交通弱者の移動手段

- ・今後も高齢化の進展が予想されるなか、高齢者等の交通弱者が増加していくことが見込まれ、市民の日常生活に密着した移動手段を確保していく必要性は高まっています
- ・他地域に比べて、三和地区等の市南部の地域は、路線バスのサービス水準が低い状況です
- ・ブーゲンビレア号を運行する協力企業が減り、持続可能性に懸念があります
- ・いとちゃんmini（デマンド交通）は、利用者増加に伴い、予約をお断りするケースが増えています

観光客にやさしい公共交通と結節点の整備

観光客の移動手段

- ・糸満市を訪れる観光客の公共交通利用意向は51.1%あるものの、利用率が低い状況です
- ・那覇空港等、糸満バスターミナル以北から訪れる観光客が南部観光資源を周遊する場合、一度乗り換えとなることから、待合環境の整備が求められています
- ・いとちゃんmini（デマンド交通）は、利用者増加に伴い、予約をお断りするケースが増えています

まちづくりと連携し、移動需要の変化を踏まえた公共交通網の形成